

公共事業環境配慮書

建設部

道路建設課

| 事業名称 | |
|---------------------|---|
| 事業名 | 道路改築事業 |
| 整理番号 | R4-6 |
| 事業の種類 | 道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備 |
| 市町村名 | 伊那市 |
| 箇所名 | 中央～上の原 |
| 事業年度 | 令和2年度～11年度 |
| 事業概要 | |
| 目的 | (主)伊那インター線は伊那IC、(国)153号、伊那バイパスをつなぐ伊那市の幹線道路であるとともに、災害拠点病院である伊那中央病院へのアクセス道路として機能するが、(国)153号から伊那バイパスは道路が整備されていない。 当該箇所の整備により、伊那IC、伊那市街、伊那バイパスを結び円滑な交通と地域の防災機能を確保する。 |
| 計画概要(延長・幅員・面積・工種など) | 道路改良工 L=1,200m W=7.0(13.0)m |
| 関連する事業計画 | 環状北線街路事業(平成31年度～令和9年度)、伊那BP道路事業(～令和9年度) |
| その他特記事項 | 特になし |
| 関係法令等の規制 | |
| 自然環境保全地域等の指定状況 | なし |
| 土地利用規制の状況 | 森林法の保安林等(普通林) 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地 |
| その他 | なし |
| 社会的要素 | |
| | 留意すべき地域の概況 |
| 交通の現況 | 事業区域の起点側に伊那IC、国道153号、終点に153号伊那BPが位置する。 計画交通量は8,200台/日である |
| 土地利用の現況 | 丘陵および平野・田園である |
| 生活関連施設の現況 | 事業区域周辺に住居が点在している 事業地沿道に上の原保育園がある |
| その他 | 特になし |
| 自然的環境要素 | |
| | 環境配慮の方針 |
| 大気環境 | 留意すべき地域の概況 生活関連施設がある |
| | 【大気汚染の防止】 ・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできる限り避ける。 ・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。 ・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。 |
| | 【騒音、振動の防止】 ・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。 ・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。 ・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。 |
| 水環境 | 留意すべき地域の概況 特になし |
| | 【水質汚濁の防止】 ・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 ・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 ・地盤改良は適切な薬液を選定し、必要最低限の薬液注入範囲とする。 |
| | 【水循環の保全】 ・水田や地下水・湧水を保全する。 ・掘削や地下構造物の設置等により地下水の流動を阻害しないように努める。 ・道路排水について、浸透側溝や浸透樹などの雨水の地下浸水等の対策を検討し、河川への流入抑制対策に努める。 |
| 地形・地質 | 留意すべき地域の概況 丘陵である 礫がち堆積物である 火山灰質粘性土(ローム) |
| | 【改変面積の最小化】 ・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。 ・工事により裸地化する箇所は、早期の緑化を行い、表層土壌の侵食を防止する。 ・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。 ・法面勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。 |
| 野生動植物 | 留意すべき地域の概況 特になし |
| | 【地域独自の生物多様性の保全】 ・工事予定地の表土を用いた覆土による植生回復や地域由来の在来植物を用いた緑化に努める。 |

| | | |
|------------------------------------|--|----------------|
| 景観 | 留意すべき地域の概況 | 特になし |
| | 【すぐれた景観の保全】 ・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 | |
| 文化財等 | 留意すべき地域の概況 | 周知の埋蔵文化財包蔵地がある |
| | 【文化財等への配慮】 ・工事施工範囲内について試掘、発掘調査を行い、発掘物の保全を図る。 | |
| 廃棄物・建設残土 | 【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】 | |
| | ・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 | |
| | ・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 | |
| | 【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】 | |
| | ・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 | |
| 省資源・省エネルギー・温室効果ガス | 【資源の有効利用】 | |
| | ・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。 | |
| | ・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。 | |
| | ・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用を推進する。 | |
| | 【環境への負荷の少ない機械の利用等】 | |
| ・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 | | |
| ・アイドルストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 | | |
| ・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。 | | |
| 【エネルギーの有効利用】 | | |
| ・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。 | | |

| 番号 | 項目 | 環境部長の意見内容 | 事業部局の見解 |
|----|-----|--|--|
| 1 | 水環境 | 流域治水推進のため、河川への流入抑制対策(浸透側溝や浸透柵などの雨水の地下浸透等)を可能な限り検討してください。 | 道路排水について、浸透側溝や浸透柵などの雨水の地下浸水等の対策を検討し、河川への流入抑制対策に努めます。 |

位置図

伊那市 中央～上の原



この地図は、国土地理院長の承認(承認番号 平29関複、第22号)を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製し作成した長野県伊那建設事務所管内図を複製したものである。